



けやきよ…

発行者
校長 西内英理

「ファイナン・スパーク」って!?

1 1月21日木曜日 (21CR・22CR・23CR)、2 2日金曜日 (24CR・25CR) に、本校2年生が「ファイナン・パーク」へ行ってきました。このファイナン・パークとは、市内の中学2年生全員が、「いわき市体験型経済教育施設『エリム』(東日本大震災復興のためにカタールから支援をいただいて建設) へ行き、施設内に再現した「街」の中で社会の仕組みや経済を体験学習するものです。具体的には、生徒たちは個々に与えられた収入・税金・家族構成等の条件の中で、必要なコストを計算し、生活を成り立たせるプランを作成します。(小学校5年生は、同施設で「ステューデント・シティ」として生産者・販売者と消費者の仕組みを学んでいます。)

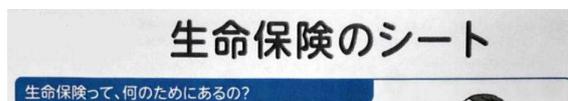
1 収入等、与えられる条件

朝、生徒が座った席には必要なものがセッティングされており、その中に右のような内容のカードが入っています。この条件で、1日の学習を進めます。各条件、特に年収(毎月の給料)や子どもの数の違いにより、生徒の悩みは全く違ったものになります。

- | | | |
|-----------------------------|--------|--------|
| ①年齢 | ②結婚の有無 | ③子どもの数 |
| | | |
| ④ 年 収 (2,000,000~8,000,000) | | |
| ⑤ 税 金 (年収によって課税) | | |
| ⑥ 保険料 (年金・健康保険等) | | |

2 毎月のお金の使い道を考える。

各家庭では、様々な支出があります。生徒たちも与えられた条件に沿って、住宅、車、電化製品、保険等を選び、また、必要な経費(電気代・ガス代・水道代・電話代・外食費・医療費・冠婚葬祭費・貯金等)を支出した上で、毎月の収入額以内に納めるようにします。



*他にもたくさんの「オプションシート」がありました。

収入が多いからと言って部屋数の多い家に住むと、それに伴って家電製品も増え、電気代等の光熱費も高くなります。いい車に乗ろうとするとその分の支出をどこかで削らなければならなくなります。それらの兼ね合い・バランスをどうするかを与えられた条件を元に考えなければなりません。

3 支出のチェックをする。

最終的な金額をパソコンに入力し、適正かどうかを判断してもらいます。

4 レポートを受け取る。

「生活設計の結果」を受け取り、学習は終了です。